



## すごいなあ

校長 田中秋人

先日、通勤途中の公園でみかけた桜の花芽が膨らんでいることに気付きました。寒暖を繰り返す季節の中で、開花の時をじっと待っている姿に寒さに耐える自然の強さを感じました。力強い桜の花芽をみていると、暦の上の春だけでなく、一步一步春の足音が舞岡小学校の周囲にも響いてきているということを感じることもできました。

桜の花の開花の頃は、卒業の時期となります。舞岡小学校でも今年度、45名の子どもたちが小学校から卒業していきます。小学校生活の経験を生かし、大きな未来へと羽ばたいていきます。卒業を祝う意味も込め、2月中旬から『校長室ランチ』と題して、6年生児童数人を校長室へ招待し、一緒に給食を食べています。本来であれば、給食を食べながら話をしたいのですが、現在の状況では難しいこともあり、給食を食べ終わったあとに15分程度校長室で子どもたちと話をしています。会話を

するときには、お互いが話題に困らないように話題を書いた『TALK カード』というものを用意しました。このカードをランチに参加している6年生が引いて、その内容をみんなで話をしています。複数回ランチ会をおこなっているため、ある程度は同じカードがでることもあります。カードの内容には、「小学校生活の一番の思い出」や「家の人に一言伝えるなら」などの小学校生活の様々な話題等が記載されています。そのカードの一枚に「すごいなあって思う人」というものがあります。こ



このカードが出た時には、子どもたちから薩摩藩と長州藩の同盟を成功させた坂本竜馬、農民から天下統一した豊臣秀吉などの歴史上の人物の名前がよく語られました。そのような中ある子どもから「〇〇さんがすごいと思う。」と友達の名前が挙げられました。私は、「どのようなところがすごいと思うの」と尋ねました。すると「〇〇さんは、誰に対しても同じ態度だし、何かあったときにもしっかりと自分の意見を伝えられるから」という答えが返ってきました。これを聞いて友達のよいところを見つけ、それを認められる素晴らしい6年生だと強く感じ胸が熱くなりました。子どもたちは、様々な教科の内容を日々の授業を通して学習しています。しかし学校では、授業だけでなく友達の関係などからもたくさんのお話を学んでいるのだと改めて気づかされた瞬間でした。お互いのよさに気付ける6年生。舞岡小学校での学びを糧に未来へ向けて大きく羽ばたいてくれると信じています。

令和4年度もあと1か月となりました。3月は進級・進学の時に向けての子どもたちの成長を促す大きな機会です。4月に力強い花を咲かせるためにもしっかりと振り返りをし、来年度につなげていきたいです。最後になりますが今年度も本校の教育活動にご理解ご協力いただき感謝申し上げます。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。